

I 第3回北洋漁場(サケ・マス・底魚)に関する水産海洋研究座談会

主催 水産海洋研究会
北洋資源研究協議会

主 題 昭和39年度の漁海況の特徴と昭和40年度の漁海況の見通し

日 時 昭和40年2月11日 10時～18時

場 所 全国町村会館別館4階会議室

主な話題提供者

進士福太郎(気象庁)……………海況全般

根本順吉(気象庁)……………気象関係

宮本 幸久(極 洋)……………ベニザケ関係

大谷 清隆(北 大)……………アラスカン・ストリーム

大和 寿男(報 国)……………シロザケ関係

佐久間 登(宝 幸)……………マス関係

温泉川洋彦(函館公海)……………ギンザケ関係

多々良 薫(東海水研)……………底魚と海況

宮崎 昭(日 水)……………底魚、スケソウの子察

主な討議者

木部崎 修(東海水研)、広瀬 寛(日魯)、吉原英吉(日水)、吉光虎之助(大洋)、大金充(北海道公社)、佐藤栄(東海水研)、八尋以知郎(日魯)、宇田道隆(東水大)(代読)、藤井武治(北大)、竹内勇(北水研)

コンピーナー 平野敏行(東海水研)

以上の他、関係官庁、水研水試、大学、会社、諸団体から計66名の参加を得、まず、北洋資源研究協議会藤田委員長挨拶、水産海洋研究会会長代理佐藤栄氏挨拶にひきつづき、本題に入る。話題および討論はきわめて活発に行なわれ、終了予定時刻を1時間延長し、午後6時盛会裡に終る。この座談会開催について、北洋母船協議会その他関係会社、諸団体から、種々便宜を計つていただいた。感謝の意を表します。